

デザイン思考とEBPMで未来のせたがやを考える若手職員の会

Future Policy Seminar

資料2

私たちが創り出したい
未来のせたがや



若手職員の問題意識を届けたい

- ・ U35の職員 1 2 人が 5 つの領域を超えて集まり、担当する職務に囚われることなく、世田谷区の「今」を知り、「未来」を考える活動を行っています。
- ・ せたがや自治政策研究所のEBPMのノウハウやデザイン思考を活用し、2つのグループで議論を重ねることにより未来の読めない時代に未来を考えています。
- ・ 現在3月の政策提案に向け、「創り出したい未来のせたがや」を考えているので共有します。

- ・ グループワークや意見交換による互学互修
- ・ 創り出したい「未来のせたがや」からバックキャストイング
- ・ 実際の流れに沿って政策形成

3月の
政策提案へ

EBPMマインドでエビデンス
(Data, Information, Intelligence)
をつかい、つたえる

デザイン思考により問題発見、
課題整理、政策提案

2 つの視点で考える「創り出したい未来のせたがや」

私たちの問題意識をもとに、「創り出したい未来のせたがや」を考え、今後の政策提案につなげていきます。

内省

- 日ごろの問題意識を持ち寄り、テーマ（視点）を決める
1 「行政サービスの提供」 2 「区民参加のまちづくり」

観察

- 世田谷区の今を知り、「このままいくとありうるせたがや」を考える

探索 1

- ムーンショット目標として「2050年に創り出したい未来のせたがや」を考える

探索 2

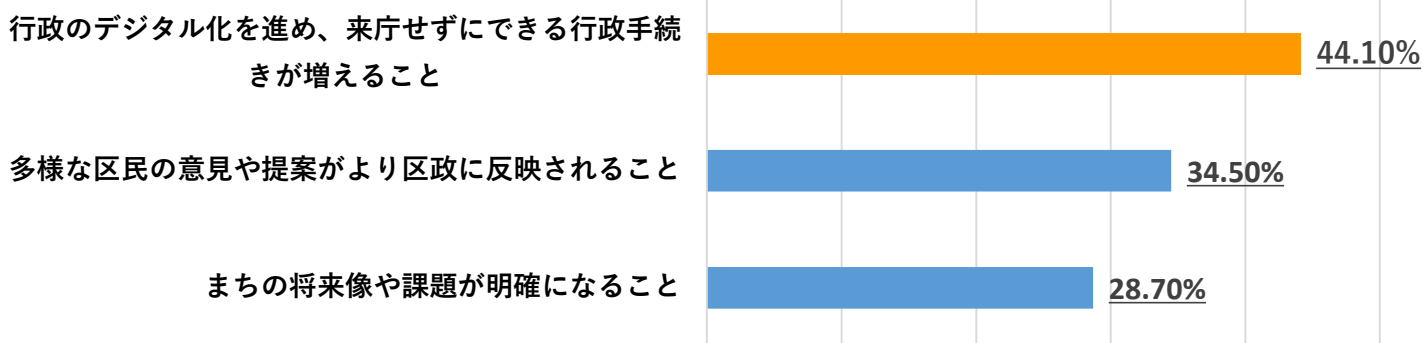
- 創り出したい未来のために計画期間終了の2032年に到達したいせたがや」を考える

視点 1 Beyond the DX



現在のせたがや

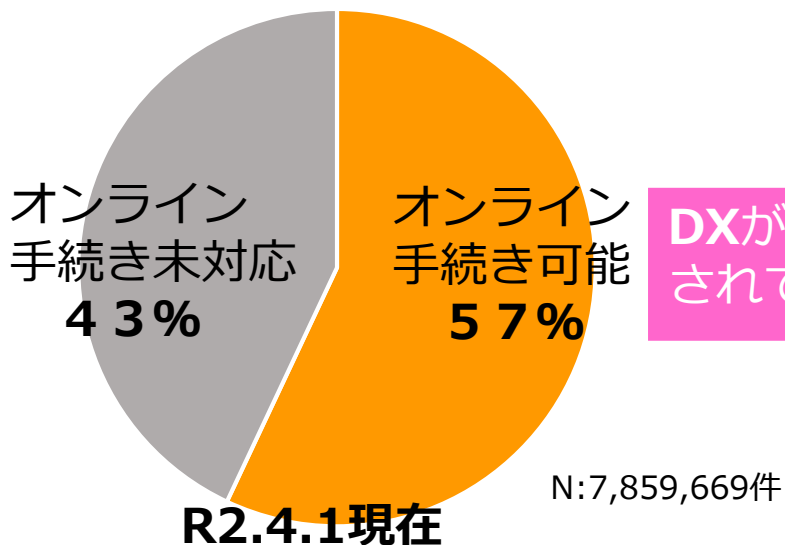
地域行政制度の条例にどのようなことを期待しますか。（複数回答）



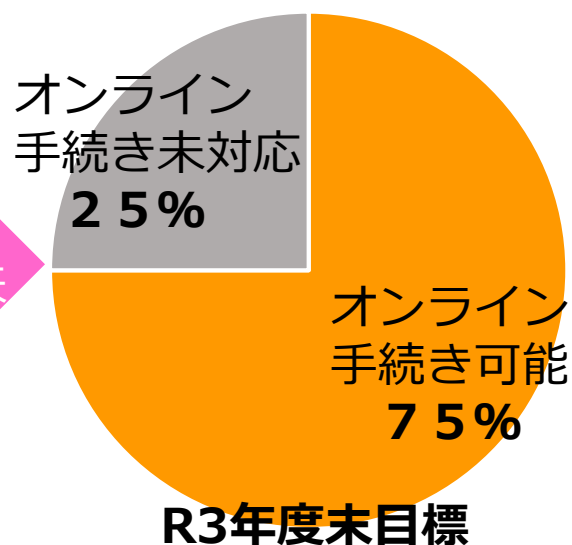
DXの需要
が高い？

出典：世田谷区民意識調査2021
(概要版)より上位3項目抜粋

年間受付件数に占めるオンライン手続き可能な申請件数の割合



DXが推進
されていく未来

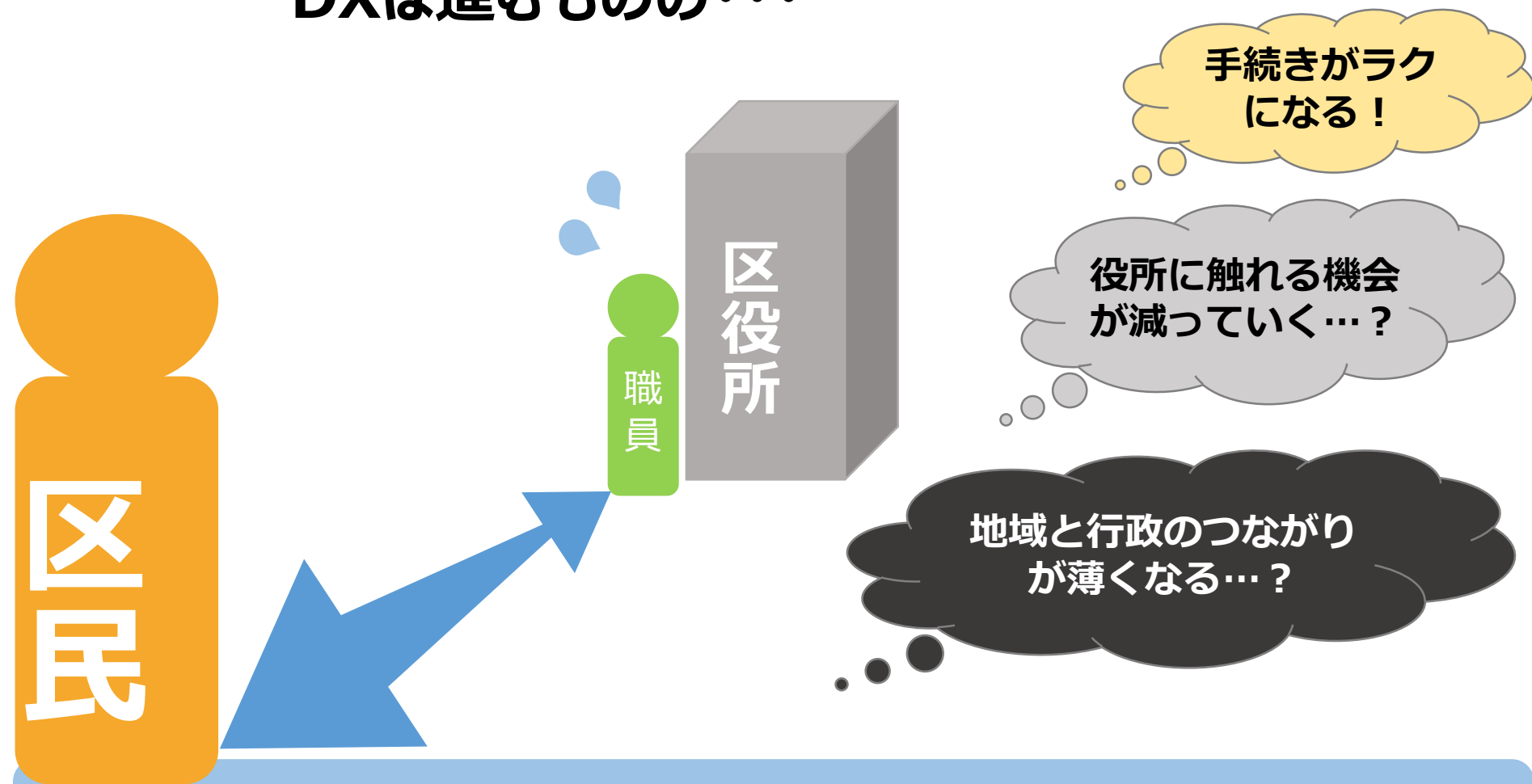


※オンライン化を検討する手続きのうち優先的に検討する70手続きとして検討。

出典：令和4年2月2日開催 DX推進・公共施設整備等特別委員会資料
「DXに係る令和3年度の取組み状況及び令和4年度以降の主な取組みについて」より抜粋

このままいくとありうる未来のせたがや

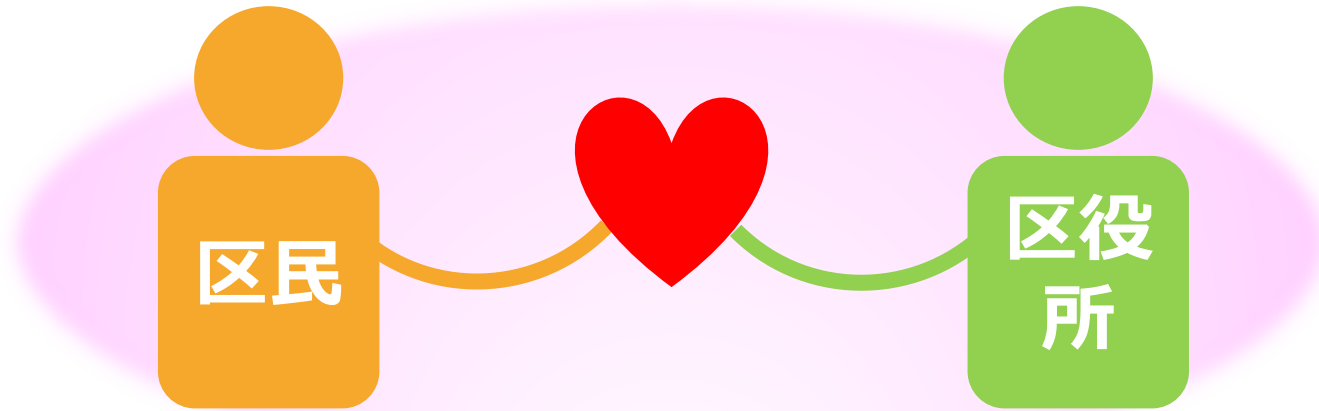
DXは進むものの...



区民と行政のキヨリは広がってしまうかも...?

創り出したい未来のせたがや2050

二人のキヨリはゼロ。相思相愛型社会。



ヒトだからこそできることに一途でありたい

困った時にいつも相談に乗ってくれる

AI&職員というバディ体制
いつでも区民対応可能

“区民の理解者”としての
区役所

お互いの顔が見えている
安心感

2032年に到達したいせたがや

DXを活用し行政・区民の「キヨリ」を縮める

区民

「区役所遠いし、行くの面倒だな…」
「仕事終わりや休日に手続きが出来れば良いのにな…」
「周りの人にはできない相談も聞いてくれるのかな?」

職員

「区民の困りごとをもっと直接聞けたらな…」
「窓口の書類事務は人がやる必要がなくなった…！」
「そのぶん人だからこそやれる仕事がもっとできないか…」

DXが進んでいけば

- ♥ いつでもどこでも手続き可能（物理的なキヨリが縮まる）
- ♥ 人にしかできない相談が手厚くなる（心のキヨリが縮まる）

→ **区民のココロに寄り添う仕事が充実し、
区役所へも相談しやすくなる。**

視点2 共感生み出すまちづくり



現在のせたがや

世田谷区民意識調査の結果



世田谷区に住み続けたい人
4年連続

80%以上!

地域と関わりたい人は

30%未満...

せたがやに住み続けたい人は多いが、地域との関わりが薄い

このままいくとありうる未来のせたがや

定住希望者と地域活動への参加率

80%
60%
40%
20%

この先もずっと

横ばいで 差が開いたまま

区民から
世田谷区・地域に
関心が向けられない

地域で楽しめる イベントを開きたい! 誰か一緒にやりませんか!

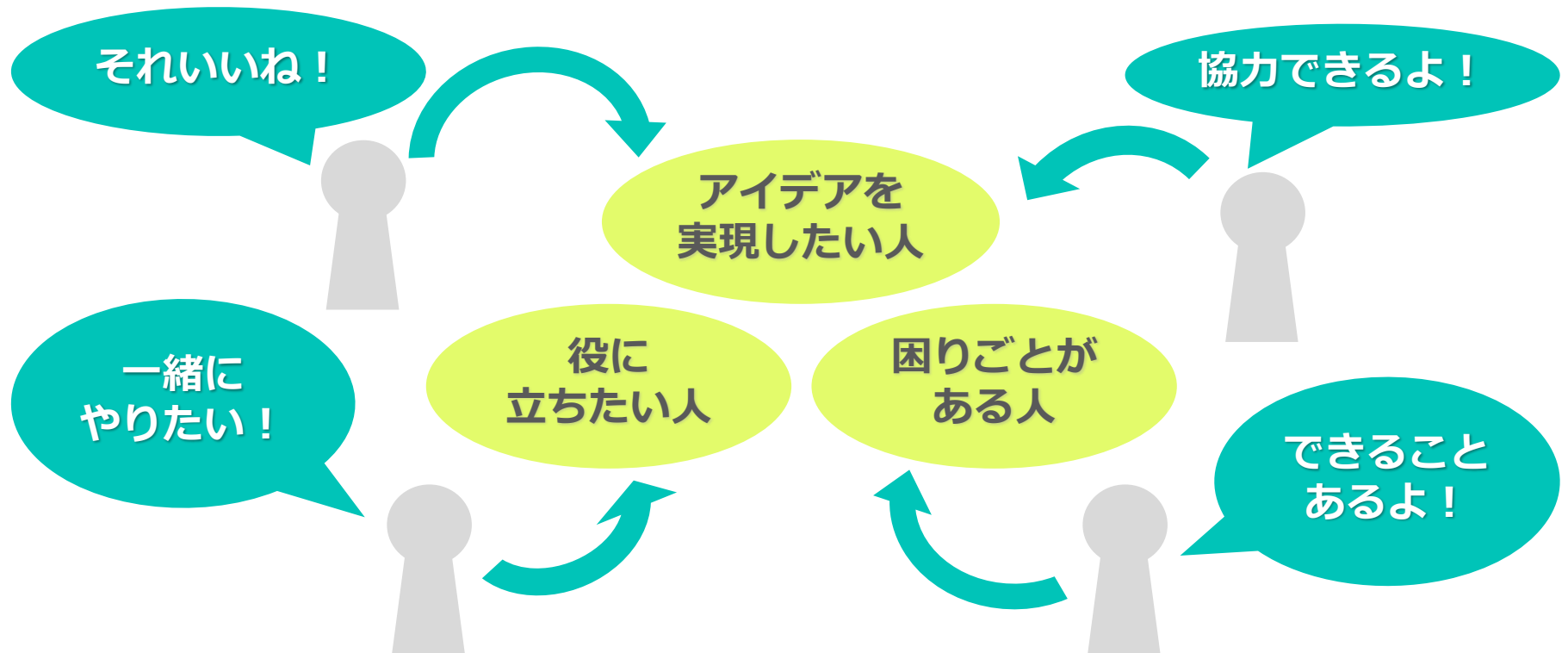
生活で 助けてもらいたい ことがあるんだけど...

区役所では対応できないらしい。 誰に頼ればいいのか?

地域でやりたいことが 実現できず、困りごと も解消されないままでは

創り出したい未来のせたがや2050

やりたい！困った！をみんなで考える 世田谷区

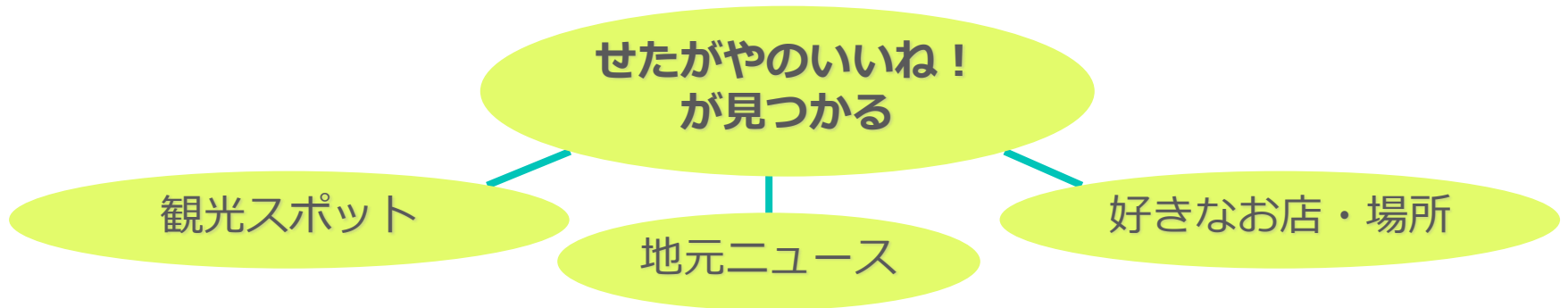


自分の強みや経験を活かすことのできる協力体制を構築
共感生み出すまちづくりの実現！

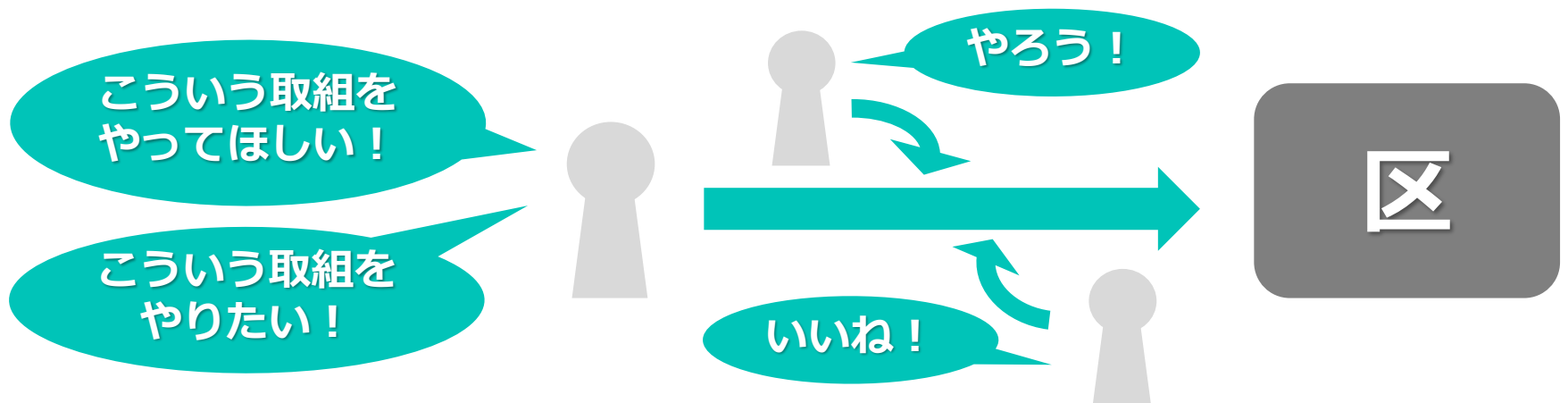
2032年に到達したいせたがや

「わがまち」と言える身近な せたがやへ

(1) 区民一人ひとりの「お気に入りのせたがや」がある



(2) 区民の思いから生まれたアイデアを応援できる



今後のFuture Policy Seminar

「創り出したい未来のせたがや」を実現するための足掛かりとなる「政策」を提案できるよう取り組んでいきます。

定義

- 創り出したい未来のせたがやを実現するために解決すべき課題を定義する

展開

- 課題の解決策の試作品をつくる

提供

- 解決策の試作品への意見交換を通じて試作品を磨く

3月 区長への政策提案

若手職員の問題意識に基づく政策提案を次期基本計画検討に活かす